

入間市新水道ビジョン 進捗管理評価シート

(令和2年度決算版)

入間市 水道事業

入間市新水道ビジョン 進捗管理評価シート

基本理念：安全で安心できる命の水をいつでも届けます。そして、ひと、まち、暮らしを支えます。

理想像：【安全】いつ飲んでも安全な水道

(入間市新水道ビジョン P.37～P.40)

目 標：誰もがいつでも、どこでも安心して飲める水道

基本施策	主な施策	具体的な施策・指標	令和2年度決算の内容	担当課
おいしさと安全にこだわった水の管理	水安全計画の策定	水道法による水質基準を遵守し、水質の向上に努め、水源から給水栓に至る水質管理を徹底します。	・入間市水道水質検査計画に基づき、水質検査を実施し、結果はホームページに公表しました。 採水日 R2. 4. 7 37項目水道法水質基準に適合 採水日 R2. 7. 7 51項目水道法水質基準に適合 採水日 R2. 10. 6 37項目水道法水質基準に適合 採水日 R3. 1. 5 37項目水道法水質基準に適合 採水場所 鍵山浄水場、朝霧公園、さくら公園、西久保観世音堂、桂の里公園、新光中央公園	上下水道管理課
		平成30年度までに水安全計画を策定し、公表します。	平成30年2月に水安全計画を策定しました。安全管理上、支障が生じない範囲で、公開用の水安全計画（概要版）を作成し、平成31年3月1日にホームページに公表しました。	上下水道管理課
	流域関係者との連絡体制の構築	入間川流域利水者連絡会等関係団体と連携し、入間川の水環境を守ります。	・入間川流域利水者連絡会（令和2年4月22日書面開催、6月18日書面開催、11月20日の3回開催：埼玉県土地水政策課） 主に渇水期の節水状況の確認及び協力依頼、有馬ダムの渇水対応の説明等。 ・荒川上流水利用者連絡会定例会（令和2年6月26日書面開催：荒川上流河川事務所）他	上下水道管理課
		入間川流域の水質事故等に対し、迅速に対応できる体制を構築します。	・令和2年度は鍵山浄水場上流域で取水に影響する水質事故は発生しませんでした。 ・県水の取水施設である、大久保浄水場でも、取水に影響する水質事故は発生しておりません。 水質事故発生時は埼玉県環境課からFAX等で情報提供がされ、県関係部署や市環境課・他の水利団体と情報を共有できるよう、連絡体制は整備されています。また、24時間体制で対応できるように、水質事故の情報は鍵山浄水場にも送付されます。 主な水質事故は、油や泡・変色等です。泡は渇水期等に家庭排水の比率が上がるため、比較的多く見られます。油膜は生物（バクテリア等）によるものと事故等による河川流入があります。	上下水道管理課
	環境に配慮した事業活動の推進	環境負荷の低減や環境に配慮した事業活動を継続して取り組みます。	・温室効果ガス排出量の低減や、グリーン購入に取り組みました。 ・資料等を作成する場合や合議の書類は両面印刷や裏面再利用に心掛け、紙の使用量の削減に努めました。 紙の使用量（R2年度：341,522枚） ・鍵山浄水場の浄水過程で発生する汚泥はセメント原料として処分します。令和2年度の汚泥搬出処分量は、400.18tでした。（搬出回数14回） ・入間市環境基本条例に基づき、省エネルギーの推進における水資源の損失防止対策として、老朽化した配水管の更新工事を行いました。また、工事で発生した建設副産物の処分については法令に従い適正に処分するとともに、道路掘削後の復旧には再生材を使用しました。	全課

基本施策	主な施策	具体的な施策・指標	令和２年度決算の内容	担当課
自己水と県水の安定確保	自己水割合の維持	鍵山浄水場の自己水確保率20%を維持します。 自己水確保率：20%を維持	令和2年度の計画配水量は、16,507,920㎡（県水13,222,080㎡、自己水3,285,840㎡）で、実績配水量は16,517,680㎡（県水13,977,780㎡、自己水2,539,900㎡）でした。 鍵山東金子線送水管整備工事のため、令和3年1月4日から鍵山浄水場での取水がなかったため、県水と自己水の割合はそれぞれ84.62%、15.38%となりました。	上下水道管理課
蛇口までの水質管理の充実	貯水槽水道の適正管理	貯水槽の適正な管理をホームページ等で周知するとともに、貯水槽管理者へ適切な指導を行います。	ホームページで貯水槽の適正な管理について掲載し、窓口や電話等での問合せに対しても適切な指導を行いました。	上下水道給排水課
	給水装置の適正管理	給水装置の管理区分や維持管理についてホームページ等で周知を図ります。	ホームページで給水装置の管理区分や維持管理について掲載し、窓口や電話等でも説明を行いました。	上下水道給排水課 ・ 上下水道管理課
		市内の指定給水装置工事事業者へ指定給水装置工事事業者研修会への参加を促します。	上下水道給排水課窓口に指定給水装置工事事業者研修会のポスター掲示を行うとともに、来庁した指定工事店事業者に口頭で参加を促しました。	上下水道給排水課

入間市新水道ビジョン 進捗管理評価シート

理想像 : 【強靱】 災害に強い水道

(入間市新水道ビジョン P.41～P.45)

目 標 : 災害による被害を最小限にとどめ、迅速に復旧できる水道

基本施策	主な施策	具体的な施策・指標	令和2年度決算の内容	担当課
災害に強い水道施設の整備	施設の適正な維持管理	漏水調査を計画的に実施し、高い有効率の水準を維持します。 有効率：98%以上 有収率：96%以上	○令和2年度漏水調査 ・調査期間（業務委託期間） 令和2年5月1日～令和3年3月12日 ・調査地域 藤沢、西武地区 ※管路の更新を行った区域は調査対象より除く ・5月21日から2月11日までの調査 調査戸数 13,561戸 漏水発見箇所 62箇所 ・令和2年度の有効率 98.72% ・令和2年度の有収率 96.13%	上下水道管理課
		消火栓や空気弁、水管橋等の点検を計画的に実施します。	○令和2年度消火栓点検 ・調査期間（業務委託期間） 令和2年7月1日～令和3年2月12日 ・調査地域 豊岡、金子地区 ・10月21日から2月10日までの調査 調査点検箇所 231箇所 指摘箇所 100箇所（修理箇所 2箇所） ○令和2年度空気弁保守点検 ・調査期間（業務委託期間） 令和2年12月18日～令和3年3月12日 ・調査地域 宮寺、二本木、西武地区 ・2月1日から3月3日までの調査 調査点検箇所 31箇所 （橋りょう 21箇所、地下式 10箇所） 指摘箇所 12箇所（修理箇所 0箇所）	上下水道管理課
	計画的な施設の更新	施設整備計画に基づき計画的に施設の整備を実施します。	7 ページ参照	上下水道整備課
		老朽管（硬質塩化ビニル管）の更新を優先的に実施します。	8 ページ参照	上下水道整備課
	送水管の更新と管路の耐震化	「短期耐震化計画（老朽管布設替計画）」に基づき、送水管の更新と管路の耐震化を計画的に実施します。	8 ページ参照	上下水道整備課
災害対応能力の向上	応急給水体制の充実	応急給水所の場所や水の備蓄の必要性について、上下水道トピックス、ホームページ等により周知を図ります。	令和2年度は実施していません。 令和元年12月15日発行の上下水道トピックスに 応急給水所について掲載し、周知を図りました。	上下水道整備課
		応急給水器具を計画的に備蓄します。	災害備蓄用ペットボトル5,040本を購入しました。	上下水道給排水課
		耐震性非常用貯水槽の設置について検討していきます。	令和2年度は実施していません。 「入間市公共施設マネジメント事業計画」の 進捗に合わせ検討していきます。	上下水道整備課

基本施策	主な施策	具体的な施策・指標	令和2年度決算の内容	担当課
災害対応能力の向上	近隣水道事業者や民間事業者との災害時の連携の確保	災害時に必要な応急復旧資機材を優先的に確保していきます。	災害時に破損した配水管を早急に復旧できるよう、応急復旧資材の賃借契約を締結しました。	上下水道管理課
		近隣水道事業者との緊急連絡管の接続に向けて、協議を実施します。	所沢市と協議を予定していましたが新型コロナウイルス感染症の影響により、実施していません。	上下水道整備課
		近隣水道事業者や県等との応急給水体制の連携を強化します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所沢市、飯能市、狭山市との4市合同防災訓練は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。 ・ 令和3年1月27日の日本水道協会主催の情報伝達訓練に参加し、応急給水訓練の連携強化を図りました。 	上下水道給排水課 ・ 上下水道整備課
		事業継続計画（BCP）を策定します。	平成31年3月に策定し、平成31年3月29日にホームページに公表しました。令和2年度は正職員数の変更などに伴い改定を行いました。	上下水道整備課

入間市新水道ビジョン 進捗管理評価シート

理想像 : 【持続】 未来につながる信頼される水道

(入間市新水道ビジョン P.45～P.48)

目 標 : 安定した事業経営が可能な水道

基本施策	主な施策	具体的な施策・指標	令和2年度決算の内容	担当課
財政基盤の強化	中長期的な視点での経営戦略	投資計画・財政計画のバランスのとれた事業運営を行います。	7～12ページ参照	上下水道経営課
		水道料金の改定を検討していきます。	令和2年度の水道料金の決算額は23億2,490万5,182円です。基本料金の半額減額の実施により新水道ビジョンでの見込額を約2,400万円下回っている状況です。 新水道ビジョンにおいて、令和5年度に料金改定を見込んでおりますが、令和3年度に実施する前期5年を踏まえた中間評価の内容に応じて、料金改定に向けた検討を実施します。	上下水道経営課
		水道料金の適正な徴収に取り組みます。	・市外に転出した未納者94件の臨宅徴収を実施し、適正な徴収に取り組みました。	上下水道経営課
人員確保と人材育成	事業推進に向けた人員確保	事業推進に向けて、人員の確保に努めます。	・水道事業担当職員 対前年比 △1人 R2年度：正規職員 29人 再任用フルタイム職員 2人 再任用短時間勤務職員 1人 パート職員 2人 計 34人 配水管更新事業の増加などを考慮し、定数管理を担当する部署に職員の増員を要望しました。	全課
	職員の意識改革と計画的な人材育成	外部の講習会等に参加して水道事業に関する知識の習得に努めます。	・日本水道協会等が主催する研修会や講習会25件に延25人が参加し上水道に関する知識の習得を図りました。 ・例年開催する埼玉県西部地区水道研究会（事務・給水装置）は中止となりました。 今後も講習会等に参加し知識の習得や他市等との情報共有を図ります。	全課
		OJTの実施や技術情報の共有を図り、計画的な人材育成に取り組めます。	OJTを実践し技術や知識の継承を図りました。また、担当内において定期的に打合せを行ない、業務の進捗状況を共有するとともに、現場作業は複数の職員で行い、業務経験の少ない職員のフォローアップに努めました。	全課

基本施策	主な施策	具体的な施策・指標	令和２年度決算の内容	担当課
サービス向上・情報提供	使用者の利便性の向上	入間市水道お客様センターの周知を図ります。	<p>「広報いるま」「上下水道トピックス」にてお客様センターに関する情報を掲載し周知を図りました。</p> <p>○掲載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報いるま4月1日号 水道お客様センターをご利用ください ・ 上下水道トピックス 水道お客様センターを開設しています <p>平成29年度に開設したお客様センターのホームページを定期的に更新しました。</p>	上下水道経営課
	使用者ニーズの把握と情報公開の推進	広報紙やホームページ等により、水道事業に関する情報を市民の目線でわかりやすく提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年6月1日から7日に水道週間を実施しました。 ・ 令和2年10月7日、令和3年3月10日に上下水道審議会を開催しました。 ・ 令和3年1月22日に令和元年度決算状況を、2月8日に経営比較分析表をホームページに公開しました。 ・ FM茶笛にて毎週土曜日20秒の水道に関するCMを3回放送しています。CM放送を通して、水の備蓄の必要性や漏水への注意喚起を行いました。また、上下水道トピックスを発行し水道事業の情報を提供しています。令和2年度は49,400部を作成し、12月1日号の広報いるまと共に各戸に配布しました。 <p>今後も広報紙等を通して水道事業に関する情報を提供していきます。</p>	上下水道経営課 ・ 上下水道整備課

入間市新水道ビジョン 進捗管理評価シート

投資計画

(入間市新水道ビジョン P.53～P.54)

1) 施設・設備

施設・設備の整備は、既に法定耐用年数を超えて日常の点検により延命化を図ってきた設備を優先して実施していきます。

鍵山浄水場、豊岡配水場、扇町屋配水場、東金子配水場、藤沢配水場、入間台加圧場は、設備の更新を行います。

また、西武第1配水池は、耐震性が低い施設であるため、配水池及び施設の更新を行います。

なお、更新を計画している設備については、今後も適切な維持管理を実施して更なる延命化が可能であれば、更新時期を先送りにして他に必要な事業を実施していきます。

■施設・設備の更新費用

[担当課：上下水道整備課・上下水道管理課]

(単位：億円)

項目		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
鍵山浄水場	計画値	0.08	-	0.36	1.38	0.55	1.18	1.18	-	-	-	4.73
	実績値	0.06	-	0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	-
	差異	-0.02	-	-0.36	-1.38	-	-	-	-	-	-	-
豊岡配水場	計画値	-	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	0.18
	実績値	-	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	差異	-	-0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-
扇町屋配水場	計画値	-	-	0.15	0.22	7.78	6.10	-	-	-	-	14.25
	実績値	-	-	0.00	0.39	-	-	-	-	-	-	-
	差異	-	-	-0.15	+0.17	-	-	-	-	-	-	-
東金子配水場	計画値	-	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-	0.15
	実績値	-	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	差異	-	-0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-
藤沢配水場	計画値	-	-	-	-	0.09	0.17	1.09	1.09	-	-	2.44
	実績値	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	差異	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
寺竹配水場	計画値	5.51	-	-	-	-	-	0.08	0.33	-	-	5.92
	実績値	9.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	差異	+3.56	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
入間台加圧場	計画値	-	-	-	0.18	1.79	1.96	-	-	-	-	3.93
	実績値	-	-	-	0.15	-	-	-	-	-	-	-
	差異	-	-	-	-0.03	-	-	-	-	-	-	-
西武第1配水池	計画値	-	-	0.08	1.67	0.62	2.70	-	-	-	-	5.07
	実績値	-	-	0.00	0.21	-	-	-	-	-	-	-
	差異	-	-	-0.08	-1.46	-	-	-	-	-	-	-
緊急工事費	計画値	0.11	0.22	0.22	-	-	-	-	-	-	-	0.55
	実績値	0.00	0.00	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-
	差異	-0.11	-0.22	-0.15	-	-	-	-	-	-	-	-
更新費用 計	計画値	5.70	0.55	0.81	3.45	10.83	12.11	2.35	1.42	0.00	0.00	37.22
	実績値	9.13	0.24	0.07	0.75	-	-	-	-	-	-	-
	差異	+3.43	-0.31	-0.74	-2.70	-	-	-	-	-	-	-

令和2年度決算における進捗及び評価

鍵山浄水場改修実施設計業務を令和元・2年度の継続事業として実施する予定でしたが、単年度事業として令和3年度に実施します。それに伴い、鍵山浄水場改修工事についても令和4・5年度の継続事業として実施予定です。

令和3・4年度に実施する扇町屋配水場改修工事に伴い、実施設計業務を令和元・2年度の2箇年の継続事業として実施しました。

令和3・4年度に実施する入間台加圧場改修工事に伴い、実施設計業務を令和2年度に実施しました。

令和3・4年度に実施する西武第一配水池建替工事に伴い、実施設計業務を令和元・2年度の2箇年の継続事業で実施しました。計画当初は令和2～4年度の3カ年で工事を実施する想定で令和2年度に工事費を計上しておりましたが、実施設計を令和元・2年度、工事を令和3・4年度としたため計画していた事業費を下回りました。

入間市新水道ビジョン 進捗管理評価シート

投資計画

2) 管路

管路の整備は、平成28年度に策定した「短期耐震化計画（老朽管布設替計画）」に基づき、年間の更新延長5,500m程度を目標に、老朽化した送水管の更新や非耐震管路の耐震化を優先して実施していきます。

また、更新する管路は、重要度などから優先事業を区分し、既存管路の布設年度等から各々に優先順位を設定します。そうすることで、今後増大すると予想される更新需要に備えて確実に管路の更新・耐震化を実施していきます。

■ 管路の更新延長

[担当課：上下水道整備課]

(単位：m)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	3,549	5,598	6,525	5,445	5,796	4,885	6,340	5,089	4,888	5,659	53,774
実績値	4,295	6,816	5,698	6,213	-	-	-	-	-	-	-
差異	+746	+1,218	-827	+768	-	-	-	-	-	-	-

令和2年度決算における進捗及び評価

鍵山東金子線送水管整備工事（第六工区）など約2,623mの整備工事及び市道などに布設されている配水管約3,590mの更新工事（耐震化工事）を実施しました。

令和元年度からの繰越工事があったため計画していた延長を上回りましたが、令和2年度に完了を予定していた、鍵山東金子線送水管整備工事（第一工区）約250mと鍵山東金子線送水管整備工事（第七工区）約327mは令和3年度へ繰越しました。

■ 管路の更新費用

[担当課：上下水道整備課]

(単位：億円)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	6.72	9.18	9.25	7.45	7.38	8.86	8.22	8.18	9.13	8.54	82.91
実績値	4.83	7.26	6.86	11.98	-	-	-	-	-	-	-
差異	-1.89	-1.92	-2.39	+4.53	-	-	-	-	-	-	-

令和2年度決算における進捗及び評価

送水管整備工事3件や重要幹線整備工事2件、市道などに布設されている配水管の更新工事（耐震化工事）19件及び舗装本復旧工事17件などを実施しました。

令和元年度からの繰越工事があったため計画していた事業費を上回りました。

入間市新水道ビジョン 進捗管理評価シート

財政計画

(入間市新水道ビジョン P.63～P.64)

○ 収支計画

[担当課：上下水道経営課]

■ 収益的収入 (税抜き表示)

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	29.09	29.04	28.79	28.51	28.29	28.57	28.49	28.22	27.95	27.76	284.71
実績値	29.41	29.17	28.93	28.06	-	-	-	-	-	-	-
差異	+0.32	+0.13	+0.14	-0.45	-	-	-	-	-	-	-

■ 収益的支出 (税抜き表示)

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	25.57	25.03	25.23	26.88	28.03	26.51	27.76	26.75	26.86	27.01	265.63
実績値	24.34	25.02	25.55	26.12	-	-	-	-	-	-	-
差異	-1.23	-0.01	+0.32	-0.76	-	-	-	-	-	-	-

■ 当期純利益 (税抜き表示)

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	3.52	4.01	3.56	1.62	0.26	2.06	0.73	1.47	1.09	0.75	19.07
実績値	5.07	4.15	3.38	1.94	-	-	-	-	-	-	-
差異	+1.55	+0.14	-0.18	+0.32	-	-	-	-	-	-	-

■ 資本的収入 (税込み表示)

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	1.42	5.06	7.15	7.15	7.14	7.35	6.07	4.71	3.17	2.83	52.05
実績値	1.29	1.51	3.48	4.41	-	-	-	-	-	-	-
差異	-0.13	-3.55	-3.67	-2.74	-	-	-	-	-	-	-

■ 資本的支出 (税込み表示)

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	15.75	12.72	13.16	14.19	21.69	24.33	13.97	13.70	13.22	12.40	155.13
実績値	17.20	10.15	10.19	15.55	-	-	-	-	-	-	-
差異	+1.45	-2.57	-2.97	+1.36	-	-	-	-	-	-	-

■ 資本的収支不足額（補填額） (税込み表示)

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	-14.33	-7.67	-6.00	-7.04	-14.55	-16.99	-7.90	-8.99	-10.05	-9.57	-103.09
実績値	-15.90	-8.65	-6.71	-11.14	-	-	-	-	-	-	-
差異	-1.57	-0.98	-0.71	-4.10	-	-	-	-	-	-	-

令和2年度決算における進捗及び評価

- ・収益的収入は、水道料金半額減額を実施したこと等により、計画値を0.45億円下回っています。
- ・収益的支出は、計画値を0.76億円下回っています。
- ・その結果、損益は計画値1.62億円より0.32億円多い、1.94億円となりました。
- 令和2年度は、経営目標である「損益黒字の確保」を達成しました。
- ・資本的収入は、企業債の借入額を計画値より減額したこと等により、資本的収入の計画値7.15億円より2.74億円下回りました。
- ・資本的支出は、管路の工事請負費が計画値を4.45億円上回り、施設設備の工事請負費が計画値を2.94億円下回ったことなどにより、資本的支出の計画値14.19億円を1.36億円上回りました。
- ・その結果、令和2年度の資本的収支不足額（補填額）は、計画値を4.1億円上回る11.14億円となり、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金、建設改良積立金及び過年度分損益勘定留保資金で補填しました。

入間市新水道ビジョン 進捗管理評価シート

経営目標

① 損益黒字の確保

基本方針 損益黒字を確保します。

■ 損益

(税抜き表示)

[担当課：上下水道経営課]

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	3.52	4.01	3.56	1.62	0.26	2.06	0.73	1.47	1.09	0.75	19.07
実績値	5.07	4.15	3.38	1.94	-	-	-	-	-	-	-
差異	+1.55	+0.14	-0.18	+0.32	-	-	-	-	-	-	-

令和2年度決算における進捗及び評価

収益的収入が計画値を0.45億円下回りましたが、収益的支出が計画値を0.76億円下回ったため、1.94億円の純利益を計上することができました。
経営目標である「損益黒字の確保」を達成しています。

② 安定的な自己資金残高の確保

基本方針 日常の資金繰りと災害時に備えて内部留保資金を15億円以上確保します。

■ 資金（年度末残高）

[担当課：上下水道経営課]

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
計画値	15.34	17.98	22.06	23.47	17.28	18.31	19.45	19.31	17.91	16.73	-
実績値	30.80	31.95	34.59	33.94	-	-	-	-	-	-	-
差異	+15.46	+13.97	+12.53	+10.47	-	-	-	-	-	-	-

令和2年度決算における進捗及び評価

令和2年度決算における内部留保資金の額は33.94億円となり、計画値の23.47億円を10.47億円上回りました。
令和2年度決算における内部留保資金は、令和元年度決算より0.65億円減少しました。
経営目標である「内部留保資金を15億円以上確保」については、目標の15億円を確保しています。

入間市新水道ビジョン 進捗管理評価シート

経営目標

③ 給水収益に対する企業債残高の割合を一定限度内に抑制

基本方針 令和8年度の「給水収益に対する企業債残高の割合」は150%以下とします。

■企業債発行額

[担当課：上下水道経営課]

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	0.00	3.90	6.00	6.00	6.00	6.00	5.16	3.50	2.00	2.00	40.56
実績値	0.00	0.00	2.19	3.50	-	-	-	-	-	-	-
差異	0.00	-3.90	-3.81	-2.50	-	-	-	-	-	-	-

■企業債償還金

[担当課：上下水道経営課]

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	2.37	1.86	1.97	2.15	2.33	2.47	2.69	2.58	2.67	2.35	23.44
実績値	2.37	1.86	1.89	2.05	-	-	-	-	-	-	-
差異	0.00	0.00	-0.08	-0.10	-	-	-	-	-	-	-

■企業債残高

[担当課：上下水道経営課]

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
計画値	21.11	23.15	27.18	31.03	34.70	31.54	34.01	34.93	34.26	33.91	-
実績値	21.11	19.25	19.55	21.00	-	-	-	-	-	-	-
差異	0.00	-3.90	-7.63	-10.03	-	-	-	-	-	-	-

■給水収益に対する企業債残高の割合

[担当課：上下水道経営課]

(単位：%)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
計画値	87.2	96.5	114.4	132.1	149.0	132.8	143.6	148.9	147.0	146.7	-
実績値	86.6	79.6	81.8	90.3	-	-	-	-	-	-	-
差異	-0.6	-16.9	-32.60	-41.8	-	-	-	-	-	-	-

令和2年度決算における進捗及び評価

令和2年度においては、企業債発行額が計画額7.3億円（令和2年度繰越分1.3億円を含む）のうち3.5億円（令和2年度繰越分1.3億円を含み、令和3年度繰越分3.25億円を除く）に留まりました。このため企業債残高の実績値は、約10.03億円計画値より少なくなっています。

企業債償還金についても、平成30年度に企業債を発行しなかったため、計画値を下回る結果となっています。

令和2年度は、経営目標である「給水収益に対する企業債残高の割合は150%以下」を大きく下回った割合で達成しています。

入間市新水道ビジョン 進捗管理評価シート

経営目標

④ 適正な料金収入の確保

基本方針 「料金回収率」は100%以上を維持します。

■給水収益

(税抜き表示)

[担当課：上下水道経営課]

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	24.20	23.99	23.76	23.49	23.28	23.75	23.68	23.47	23.30	23.12	236.04
実績値	24.39	24.19	23.88	23.25	-	-	-	-	-	-	-
差異	+0.19	+0.20	+0.12	-0.24	-	-	-	-	-	-	-

■供給単価

[担当課：上下水道経営課]

(単位：円/㎡)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
計画値	155.30	155.20	154.60	154.60	154.60	153.31	153.31	153.31	153.31	153.31	-
実績値	154.40	153.97	153.31	146.43	-	-	-	-	-	-	-
差異	-0.90	-1.23	-1.29	-8.17	-	-	-	-	-	-	-

■給水原価

[担当課：上下水道経営課]

(単位：円/㎡)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
計画値	143.68	141.44	143.63	145.83	151.40	150.16	157.25	153.82	155.84	158.44	-
実績値	133.62	138.35	142.56	143.13	-	-	-	-	-	-	-
差異	-10.06	-3.09	-1.07	-2.70	-	-	-	-	-	-	-

■料金回収率

[担当課：上下水道経営課]

(単位：%)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
計画値	108.10	109.70	107.60	106.00	102.10	102.10	97.49	99.67	98.38	96.76	-
実績値	115.55	111.29	107.54	102.31	-	-	-	-	-	-	-
差異	+7.45	+1.59	-0.06	-3.69	-	-	-	-	-	-	-

令和2年度決算における進捗及び評価

料金回収率は、水を「供給するための経費」が水を「売り上げた収益」で賄えているかを表しています。100%以上を維持するのは、給水収益が適正な水準にあり、経費を全て賄えている経営状況ということです。

「供給単価」は水を1㎡売り上げたときの収益であり、「給水原価」は水を1㎡供給するための経費を表します。

令和2年度決算における「供給単価」が146.43円、「給水原価」が143.13円であり、「供給単価」が「給水原価」を上回っているため、この比率は100%を超えており、経営目標である「料金回収率」100%以上を達成しています。